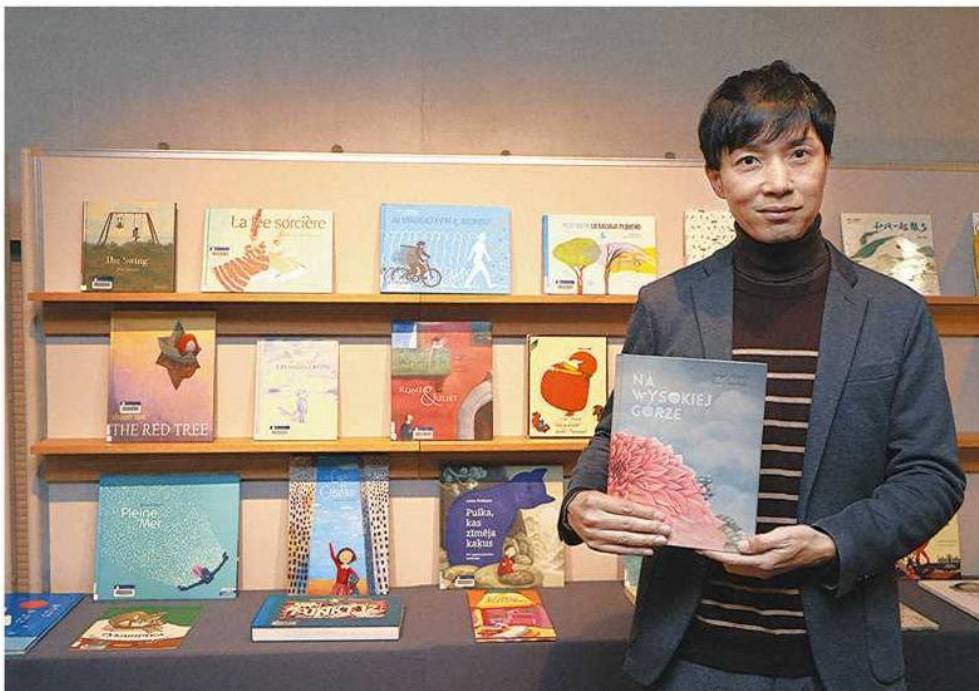


多様な文化 美しい絵本見て

世界55カ国の絵本などを展示する「世界の絵本展―希望の扉をひらく―」が、浜松市中央区の静岡文化芸術大の図書館・情報センターで開かれている。かわこうせい同センター長(52)は「多様な文化の美しい絵本を多くの人に見に来てほしい」と呼びかける。25日まで、日曜休み。(服部剛士)

世界55カ国100冊 文化芸大で展示



ポーランド語の絵本を手取るかわさん＝いずれも浜松市中央区の静岡文化芸術大で

英語や中国語、ポルトガル語など身近な言語だけでなく、アラビア語やペルシャ語など日本人が接する機会の少ない言葉も含めたカラフルな絵本約100冊を展示。気になった絵本は手に取って館内で閲覧できる。同大はデザイン学科や国際文化学科など、外国の絵本を研究対象とする学部学科があり、図



グラフィックノベルの展示コーナー

大人向け漫画コーナーも

書館に外国の絵本約2300冊を備える。学生に絵本への関心を高めてもらうと同時に、地域の住民に魅力を発信しようと企画された。かわさんは「どの国でも、絵本は生まれてきた子どもが最初に触れるもの。それぞれに価値観が表れており、文化の美しさの結晶のようなものだ」と語った。子ども向け絵本に加え、気候変動問題やエルサレムの歴史などの社会的な話題を扱う大人向け漫画「グラフィックノベル」の展示コーナーもある。17日午後3時から、学生たちによる子ども向けの読み聞かせ会がある。(岡同大地域連携室 053(457)6105)